

腰越地域町名別窃盗犯認知件数表(平成16年1月～12月)

侵入盗...空き巣・忍び込み
乗物盗...自転車・オートバイ・自動車

	腰越	津	西鎌倉	七里ガ浜東	津西	七里ガ浜	合計・前年比
侵入盗	13	9	10	7	6	6	51
前年比	(+2)	(-3)	(-28)	(-27)	(-8)	(-1)	(-65)
乗物盗	8	1	8	1	1	1	20
前年比	(-6)	(-5)	(+3)	(-15)	0	0	(-23)
ひったくり	1	0	0	1	0	0	2
前年比	(+1)	0	0	(+1)	0	0	(+2)
車上狙い	12	2	2	6	0	5	27
前年比	(-29)	(-3)	(-7)	(-6)	(-7)	(-6)	(-58)
その他	25	3	6	9	3	5	51
前年比	(+5)	(-1)	0	(-10)	(+2)	(+1)	(-3)
合計	59	15	26	24	10	17	151
前年比	(-27)	(-12)	(-32)	(-57)	(-13)	(-6)	(-147)

犯罪がほぼ半減し、市内で犯罪が一番少ない地域に

昨年の市内の犯罪件数減少について、最も胸を張れる地域が腰越地域です。平成15年の381件から平成16年には207件となり、174件減、45.7%減と約半減しました。

特に窃盗犯については、七里ガ浜東の7割以上減を筆頭に、津西、西鎌倉、津がおおよそ半減。腰越、七里ガ浜が約25%の減少と、全ての町で全市平均(17.1%減)を上回りました。腰越地域では全ての町で自主防犯活動が実施されており、その成果と思われます。

今後も自主防犯活動の充実と、犯罪の減少を目指していただきたいと思います。

